

使用方法

1 準備

(1) 審判員が直接入力する場合

・ハード面

- ① タブレットPCかPC を 1コート審判員人数 × コート数 +1台 および 結果印刷用プリンタ
- ② インターネット接続環境 (推奨 携帯電話会社回線利用のWiFiモバイルルータ や 携帯電話テザリングサービスなど) を ①の使用台数分
- ③ 得点・形名確認用モニター 1台 (HMD I 接続)
 - ※ ③については、可能な限り準備してください。最低、審判員人数分のインターネット接続可能な機器とWiFi環境をつくることできれば、審判員直接入力が可能です。

また、**審判員個人が使用しているスマートフォンなどで入力可能ですが**、通信料金やアカウント管理等の問題がありますので、スマートフォン管理者の十分な認識が必要です。

・ソフト面

- ① Googleアカウント などの クラウドドライブを使用できるアカウントの取得
- ② 競技を行う種目・コート別に予め、組合せ抽選会議で決定した演武順を予選用に選手名を入力し記録ファイルを準備する。
 - ※ 男女個人組手のみの大会で使用する場合、男子個人形予選Round1で4ファイル・男子個人形準決勝Round2で2ファイル・男子個人形Round3で1ファイル 同数を女子分で、**14ファイル**を準備します。
- ③ ②で準備したファイルを①で準備したクラウドドライブにアップロードします。
- ④ 審判入力用端末 (審判員人数分) でインターネットに接続し、③でアップロードしたファイルをそれぞれの端末で同じファイルを開く。
- ⑤ 審判入力用端末で開いたファイルで、それぞれJudge1~5・7のシートを開いて入力準備する。

(2) 審判員が得点板で、技術点・競技点を2回表示する場合

・ハード面

- ① タブレットPCかPC を コート数分 +1台 および 結果印刷用プリンタ
 - ※ 1コートに1台のPCを準備します。

・ソフト面

- ① 競技を行う種目・コート別に予め、組合せ抽選会議で決定した演武順を予選用に選手名を入力し記録ファイルを準備する。
 - ※ 男女個人組手のみの大会で使用する場合、男子個人形予選Round1で4ファイル・男子個人形準決勝Round2で2ファイル・男子個人形Round3で1ファイル 同数を女子分で、**14ファイル**を準備します。
 - ※ このファイルのシートの並びの一番右奥に直接入力用のシートが準備してあります。また、記録用紙としてあらかじめ印刷しておくともおすすめします。
- ② 競技を行う記録ファイルのシート (直接入力用シート) を開いて、点数入力の準備をする。

2 競技記録

(0) 選手招集

- ① 演武形エントリーシートの提出を受けて、形Noを確認し、Topシートに形Noを入力しあらかじめ演武する形を入力しておく。
 - ※ 演武形エントリーシートはkataNoのシートの形名一覧のシートの下方にあり、そのままA4横で表・裏印刷をしてあらかじめ準備しておいてください。

(1) 審判員が直接入力する場合

- ① 選手が演武することにより、審判員が得点を得点を選択し、点数入力をおこなう。
 - 注意 一度決定した得点を固定することができません。点数入力をあとから変更した場合、変更した点数が反映されてしまいます。得点計算シート5judge sheetなどでコール得点の画面をスクリーンショットするなどで、得点内容を記録することをお勧めします。

審判員入力について

- ・技術点・競技点を選択し入力します。
 - ・点数は以下の順序で並んでいます。
- なお、点数のクリア (消去) は上から2段目を選択します。

0.0	←協議の上0点の場合	—	
←クリア		5.0	
6.6		5.2	左の後にすべての点数を準備しています。
6.8		5.4	
7.0		~	
7.2		9.6	
7.4	一般的に使用頻度	9.8	
7.6	が高いと思われる	10.0	
7.8	点数を最初に並べ		
8.0	います。		
8.2			
8.4			
8.6			
8.8			
—			



- ② 得点の確認方法・・・入力された点数がリアルタイムで確認できます。
 - ・5judge info か 7judge info のシートで確定の点数を確認し、得点をコールする。
 - ・5judge sheet か 7judge sheet の形競技記録のシートで各審判員の入力状況をリアルタイムで確認します。コールを行った点数が表示されている状態で、スクリーンショットを行って記録をしておく、点数改ざん防止になります。



